

◆◆◆ よくある質問と答え ◆◆◆

エントリー

Q 申し込み方法は？

A 申し込みは、インターネット(MSPO エントリー)のみです。(※先着順)

大会オフィシャルサイトより必要事項を全て入力の上、お申し込みください。申込情報の入力を完了した方に、後日決済方法の入力の案内がメールで届きますので、決済方法の入力を行ってください。参加費のお支払い完了によって、申込完了となります。支払期限までに入金を確認できない場合は、申し込みが取り消されますのでご注意ください。また、支払手数料は自己負担となります。参加誓約書に同意した上でお申し込みください

エントリー開始時刻は、

リレーの部：2019年4月13日(土)正午 12 時から

個人の部：2019年4月14日(日)正午 12 時からの予定です。

Q エントリー受付期間はいつまで？

A リレーの部：2019年4月13日(土)正午 12 時～4月20日(土)

個人の部：2019年4月14日(日)正午 12 時～4月20日(土)です。

(※ただし、定員に達し次第締め切りとなります。)

Q 参加費の返金は？

A 自己都合による不参加、また降雨、強風、海上の荒れなど、気象状態の悪化により、競技が取消しになった場合、さらに天災や天候不順等により競技時間やコース等に変更があった場合でも、返金いたしません。

Q 大会要項を郵送で送ってもらうことはできますか？

A はい、できます。大会事務局までご連絡ください。(※切手や返信用封筒などは必要ありません。)

Q 応募資格を教えてください。

A ①大会当日 18 歳以上で、健康な男女。※未成年者は、保護者の同意が必要です。

②トライアスロン競技の基礎知識・体力を有し、完走できる能力を有する方。

③大会事務局から、大会参加許可通知を交付された方。

上記 3 つの項目を満たす方となっております。

Q JTU 登録をしていないのですが、大会に参加できますか？

A はい、JTU 登録がなくてもご参加いただけます。出来るだけ多くの方に参加していただきたいので、登録制限はございません。 ※登録番号をお持ちの方は記入してください。

Q JTU 登録をしたいのですが、どこに相談すればよいでしょうか？

A 各都道府県の JTU 加盟団体（岡山県では岡山県トライアスロン協会（TEL:090-5373-8866）までお問合せください。(※参照 <http://www.jtu.or.jp/register/index2018.html>)

Q 障がいの有無について

A トライアスロン競技の基礎知識・体力を有し、完走できる能力を有していれば可能です。また、トライアスロン競技では助力は禁止されていますが、本大会ではリレー部門のラン競技での「伴走者」のみ同伴を認めます。その場合「伴走者」の方にも専用のレースナンバーを付けていただきます。事前に申し出てください。

Q キャンセル待ち、辞退者がたときの追加募集はありますか？

A 本大会では、キャンセル待ち、追加募集は行っておりません。

Q 受付がちゃんとできているか、確認したいときは？

A 大会事務局までご連絡ください。すぐに確認します。

競技に関する質問

Q 競技距離を教えてください。

A スイム 1.5km、バイク 40km、ラン 10km、合計距離 51.5km の、スタンダードディスタンスを採用しています。

Q スタンダードディスタンス 個人の部・リレーの部とは？

A 個人の部は、3 種目を同一選手が連続して行い、リレーの部は 1 人 1 種目ずつ 3 人で 3 種目をリレー方式で行います。

Q 競技開始時間と終了時間は？

A 競技開始時間は 7:51、競技終了時間は 12:00 です。

Q 制限時間を越えた場合はどうなりますか？

A 各競技の制限時刻は、スイムは 8 時 50 分まで、バイクは 11 時 00 分まで、ランは 12 時 00 分までです。制限時間を超過した場合は、マーシャルが競技を中止し、DNF（途中棄権）とさせていただきます。但し、リレー部門で制限時間内にフィニッシュできない場合、次走者は繰り上げスタートを実施しますが、チーム記録は残りません。

Q 競技規則、ローカルルールを教えてください。

A 詳細な内容は、参加許可決定通知書、大会プログラムに掲載しますので、ご確認をお願いします。

Q 前空きユニフォームについて①

A 前空き及び前ファスナー付きのウェアの使用を禁止します。

JTU が主催・公認・後援するスタンダードディスタンス（51.5 km）以下の大会において、「前空き及び前ファスナー付きの競技ウェア使用禁止の競技ルール」が 2013 年度から施行されています。選手のユニフォーム前部がはだける姿に対して、見苦しい姿として映るという指摘が相次いだためであり、スポーツとしてのトライアスロン競技の確立のためご理解をお願いします。

【前空きユニフォームの使用に関するお知らせ】<http://www.jtu.or.jp/news/2013/130125-1.html>

Q 前空きユニフォームについて②

ユニフォームとありますが、具体的にどのウェアが対象になりますか？

A 競技中に着用するウェアで、トライスイーツ、バイクジャージが対象です。ウェットスイーツは対象外です。

Q 一般的なウェットスイーツ、ロードレーサータイプの自転車とありますが、具体的にはどのような形でしょうか？マウンテンバイクやクロスバイクでの参加は認められませんか？

A 日本トライアスロン連合（JTU）のホームページ内に「2006 年（平成 18 年）2 月改定ルールブック」が掲載されていますので参考にしてください。http://www.jtu.or.jp/marshal/pdf/jtu_competition_rules_2006.pdf
また、マウンテンバイクやクロスバイクでの参加は認められません。

**競技に関する詳しい質問に関しては、
直接「岡山県トライアスロン協会」へお問合せください。**

TEL : 090-5373-8866 / Email : okym-tri@mx35.tiki.ne.jp

大会全般について

Q 初心者講習会は事前の申し込みが必要ですか？

A 申し込み等は不要です。無料で参加することができます。

(場所：児島オートレース場スタンド棟 1 階イベントホール / 日時：9月7日(土) 12:30~13:30)

Q 9月7日の選手登録と9月8日の最終選手登録の違いについて教えてください。

A 両日とも必須です。7日は選手受付、コース下見受付(義務の方)、8日は最終選手受付とアンクルバンドを配布します。

Q 大会前日のコース下見は義務なのですか？

A 個人の部出場者及びリレーの部バイク競技の出場者は義務となります。但し、第1回~第6回のいずれかの大会完走者(バイク競技者)は希望者のみです。

※リレー部門の場合、第1回~第6回大会のいずれかのバイク競技担当者、なおかつ完走出来たチームに属していた方。また、コース下見はバスに乗りバイクコースを見ていただきます。(所要時間：約60分)

Q 主催者側は、どんな保険に加入しているのですか？

A 本大会では、選手及びボランティアスタッフに対して、障害及び賠償責任の保険に加入しています。

Q カーボパーティーの料金は？

A 参加費に含まれています。軽食とソフトドリンクの提供があります。アルコールの提供は、ありません。

同伴者のカーボパーティー料金は、事前申し込みが必要になります。大人(20歳以上)1名2,500円、小学生以上1,000円、小学生未満無料です。なお、申込書は参加許可決定通知書に同封します。

Q 義務づけられている項目を遅刻、欠席した場合はどうなりますか？

A 遅刻、欠席した場合は競技に参加出来ません。

Q 都合により、出場できなくなった場合はどうすればいいですか？

A 出場できなくなった場合、大会事務局までご連絡ください。欠場の手続きをとらせていただきます。また、参加記念品を大会終了後に送付させていただきます。

Q 申込者の代わりに出場したいのですが？

A 参加資格を他人に譲渡することはできません。また代理者による大会出場はできません。

Q リレーメンバーの出場種目変更は？

A 申し込み後の変更は、一切受け付けません。

出場出来ない選手が出た場合でも自分の担当競技は実施できます。但し、チーム記録は残りません。

Q バイクを事前に送付することはできますか？また大会前日から大会当日まで保管することはできますか？

A 大会事務局による受取・保管はいたしません。各自、宿泊先にお問合せの上、対応をお願いします。

Q 同伴フィニッシュできますか？

A 同伴フィニッシュはできます。主会場フィニッシュ付近に、同伴フィニッシュ待機場所を設けています。マーシャルの指示に従ってください。

Q 主催者支給品を教えてください。

A スイミングキャップ、レースナンバー、エイドステーションの飲み物等、参加記念品。

その他競技に必要と思われる物は、各自で持参してください。

会場

Q 主会場（児島ボートレース場）への交通手段は？

A JR 児島駅から徒歩約 15 分、瀬戸中央自動車道児島 IC から車で約 5 分です。

Q 駐車場はありますか？

A 選手・観戦者共に、児島ボートレース場に無料駐車場があります。

Q スタート地点、フィニッシュ地点での観戦は可能ですか？

A 可能です。ただし、コース内の立ち入りは禁止です。

宿泊

Q 宿泊申込方法は？

A 各施設へ直接お申し込みください。宿泊施設は、大会ホームページの「宿泊案内」をご覧ください。

Q 車中泊はできますか？

A 車中泊はできません。

交通規制

Q 交通規制について教えてください。

A 交通規制は、9月8日(日)6:00～12:00までの予定です。場所によって規制開始・解除時間が異なりますので、詳しくは大会ホームページをご覧ください。 ※最終競技者が通過後に、交通規制を順次解除していきます。

その他

Q 「ドローン」を利用して撮影することはできますか？

A 本大会では、選手及び観客、ボランティアの安全確保のため、メイン会場（児島ボートレース場）内やコース付近での小型無人機「ドローン」の飛行は禁止とさせていただきます。

◆◆◆トライアスロンに必要な用具◆◆◆

スイム

◆ウェットスーツ（※推奨、条件により義務）

ウェットスーツは、トライアスロン用に作られたものを使いましょう。長袖長ズボンタイプ(フルスーツ)と袖なし長ズボンタイプ(ロングジョン)の2種類が一般的です。生地の種類、厚さなど様々ありますので、ショップで相談してみてください。本大会では、ウェットスーツの着用は、推奨としています。但し、J T U競技規則により水温18℃以下ではウェットスーツの着用は義務となります。なお、ウェットスーツを収納する袋は各自で持参してください。

◆ゴーグル

スイム競技にはかかせない道具のひとつですが、小さいためうっかり忘れる方がいらっしゃいます。競技に集中できるよう、忘れず準備してください。度付きのゴーグルもあるので、ショップで聞いてみてください。

◆水着

「水着」と「バイクパンツ」と「ランニングパンツ」を兼ねる「トライスーツ」や「トライショーツ」もおすすめです。

バイク

◆ロードレーサー(※義務)

本大会では、ロードレーサーでの参加を義務づけています。バイク選びは、サイズ選択が重要になります。3種目の中で一番競技時間が長いので、専門ショップで身体のサイズを測定し、適切なものを選びポジションも合わせてもらいましょう。

◆硬質ヘルメット(※義務)

ヘルメットは大切な用具です。バイク競技用の硬質ヘルメットで、規格に合格したものを選んでください。

◆バイクジャージ

トライスーツ(3種目共通使えるウエア)などをウェットスーツの下に着ない場合には、バイクジャージを着用しましょう。

◆バイクシューズ

トップ選手やベテラン選手は時短短縮のため、ペダルにシューズをつけたままスタートします。初心者の方は無理しなくても、ランニングシューズで代用可能です。

◆サイクルコンピューター

サイクルコンピューターを付けると時間や走行距離、平均速度が表示されるので、目標タイムの参考や、自分のペースが分かります。ただし、大会での落とし物が多いのでしっかり装着してください。

◆ドリンクボトル

競技時間が長く、気温が高い時期のためドリンクボトルを携帯することをおすすめします。こちらも落とし物が多いので気を付けてください。

◆グローブ

転倒時に手を守るため、安全のため着用をおすすめします。

◆パンク修理セット

レース中、競技開始前など、パンクしたときのためおすすめします。もちろんパンクの修理作業ができることが前提となりますが、リタイヤにならないためにも、あらかじめ作業を身に付けておきましょう。

ラン

◆ランニングシューズ(※義務)

ランニングシューズは着地による衝撃から身体を守る用具です。専門のショップに行き、走力にあったシューズを選びましょう。バイク競技で足が疲労した状態で走るため、ソール(底)が厚いものを選ぶと足のケガを予防してくれます。

◆ランニングシャツ(T シャツ)

速乾性・通気性のいいウェアを着ましょう。また 3 種目共通で使える「トライウェア」もおすすめです。

◆帽子

通気性のよいものをかぶりましょう。熱中症を防ぐため、かぶることをおすすめします。

◆時計

目標タイムの参考になります。

その他

◆サングラス

日差しの強い時期なので、眼を守るためにおすすめします。

◆タオル

スイム競技の後、バイクシューズまたはランニングシューズに履き替えるとき、足についた砂を払い除けるのに便利です。

◆レースナンバーベルト

レースナンバーを、そのまま服に安全ピンなどで止めてもOKですが。着替えるときに便利なのと、大切なウェアに穴を開けずに済みます。

◆サンダル

大会当日、受付やバイクの設置など準備の間、着脱の便利なサンダルをおすすめします。

◆ワセリン

ウェットスーツの擦れで肌を傷めることがよくあります。その擦れを防止するのにワセリンがおすすめです。よく動かす肩のまわりや脇、首のまわりに塗りましょう。事前にウェットスーツを着用して、擦れるところを確認しておきましょう。また、靴擦れを起こさないために、ランニング時に履くソックスにも塗る方もいるとか。